

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公表番号】特表2004-537030(P2004-537030A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2002-550119(P2002-550119)

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/53

C 0 7 K 16/08

C 0 7 K 16/12

G 0 1 N 33/566

G 0 1 N 33/569

// C 1 2 P 21/08

C 1 2 Q 1/68

【F I】

G 0 1 N 33/53 Z N A M

C 0 7 K 16/08

C 0 7 K 16/12

G 0 1 N 33/566

G 0 1 N 33/569 B

G 0 1 N 33/569 G

C 1 2 P 21/08

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月10日(2003.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験体の体液中で検出するための診断用組成物の調製のための、モルホリノアンチセンスオリゴマー化合物の使用であって、該化合物は、(i)標的mRNAの領域に相補的な標的化塩基配列を含む、8~40のヌクレオチド、および(ii)ワトソン-クリック塩基対形成により、実質的に37より高い温度のTmで該標的RNAの領域にハイブリダイズするのに効果的な量の、非電荷のリン含有内部サブユニット結合を有し、塩基特異的な細胞内結合現象の発生に、選択された遺伝子の発現により生成される標的mRNAが関与する、使用。

【請求項2】

前記体液が尿である、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

選択された遺伝子の発現により生成される標的mRNAが関与する、塩基特異的な細胞内結合現象の存在を検出するためのキットであって、該キットは：
(a) (i)標的mRNAの領域に相補的な標的化塩基配列を含む、8~40のヌクレオチド、および(ii)ワトソン-クリック塩基対形成により、実質的に37より高い温度のTmで該標的RNAの領域にハイブリダイズするのに効果的な量の、非電荷のリン含

有内部サブユニット結合を有する、モルホリノアンチセンス化合物；ならびに、
(b) 該アンチセンスオリゴマーと該標的 R N Aとの間で形成されるヘテロ二本鎖を検出
する手段、
を備える、キット。